平成１７年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

（整理番号） ２９ ※記入不要	提案機関名	横浜川崎地域農業改良普及センター

要望問題　シクラメン用鉢物用土の適正な物理性の把握と理想的な培養土配合方法の解明

要望問題の内容　【　背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）　】

背景

シクラメン生産において培養土の配合については常に頭を悩まされているのが現状である。過去には物理性などの調査がなされ報告はされているが、鉢の材質、肥培方法などの生産過程が変化し、かつての作り方では培養土の三相分布が悪く、その方法では高品質生産が困難となっている。培養土は入手しやすい関東ローム層由来の赤土が主体であるのはかつてと変化はないが、軽量化や気相率確保のために堆肥などは使用せずにピートモスやパーライトなどを使用している。生産者は経験として気相率を多く確保するように培養土の配合に努めているが、適正な気相率についてはデータとして把握はしていない。

内容

適切な三相分布状態の把握。またそのために必要な培養土の配合技術の確立。

対象地域及び規模

横浜市および川崎市約 50 戸

解決希望年限	①１年以内　[②２～３年以内]　③４～５年以内　④５～１０年以内
研究対応区分	[①研究所対応]　②委託研究　③共同研究　④その他
対応を希望する研究機関名	[①農業総合研究所]（ ②根府川試験場　③三浦試験場　④津久井試験場 ） ⑤畜産研究所　⑥水産総合研究所（ ⑦内水面試験場　⑧相模湾試験場 ） ⑨自然環境保全センター

※　ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業総合研究所
部　　署：生産技術部	
対応区分	①実施　[②実施中]　③継続検討　④実施済　⑤調査指導対応　⑥現地対応　⑦実施不可

試験研究課題名　（①、②、④の場合）

新栽培技術による低コスト・省力栽培技術の開発

対応の内容等

平成１４、１５年の試験で、現地の生産者の培養土の物理性を調査しました。引き続き補足調査を行うとともに、適正な気相率と管理法を検討する予定です。ご協力お願いします。

解決予定年限	①１年以内　[②２～３年以内]　③４～５年以内　④５～１０年以内
備　考	